

2020/10/20

## 不登校児童生徒及び その保護者との関わり方

神戸大学 齊藤誠一

1. SCとして経験したエピソード
2. 子どもと保護者と関わり
3. 不登校の子どもをもつ保護者との関わり
4. 先生方に知っていただきたいこと
5. エピソードから学んでいただきたいこと

1

### エピソードA

人前に出るのが苦手で、特定の友だちとしか口を聞くことができないため、SCのアドバイスもあり、授業でも指名を控えるなど配慮し、級友の援助もあり、小学校生活は何とかができた。6年の3学期に中学校入学後のことを心配した担任は、保護者に入学前に中学校にあらかじめ相談することを勧めた。小中の教頭が仲介し、中学校のSCが当該保護者と面接し、保護者の希望を聞いた上で、保護者と中学校の校長、生徒指導担当、SCの四者で相談する機会をもった。そこでは、中学校側もAの特徴を理解し、クラス編成や集団場面では配慮することを伝えた。ところが、中学入学してみると、希望していた生徒とは別のクラスになり、入学式では壇上で一人ひとり名前が呼ばれ、返事ができず、立ち往生してしまった。Aは次の日から学校へは行けなくなった。保護者から「なぜ約束を守ってくれなかったのか？」という訴えがあった。

2

前校長が3月末で異動となり、学年主任も生徒指導担当からの詳細な引き継ぎはなく、特段の配慮はせず、クラス編成や入学式を進めたとのことであった。もちろん、担任であるあなたも事情はよくわかっていない。こうした保護者の訴えにどのように対応しますか？

3

### エピソードB

Bは、1学期のGW明けより欠席が増え始め、6月半ばまでには不登校状態になった。保護者にBはクラス内での友だちから嫌なことを言われることをほのめかしているという。6月末に行ったいじめアンケートの結果をみる限り、クラス内でいじめを見たと報告した生徒はひとりもいなかったし、担任としてもいじめがあると思えなかった。週に1回家庭訪問をしており、時々Bにも会えるので、夏休み直前にBに会えた時にいじめアンケートの結果を示し、「気のせいではないか」と伝えたが、Bの反応がなかった。そこで、「もしかしたら先生が気づけていないだけかもしれないから、嫌なことをいう生徒の名前を教えてほしい」と聞かすが、返事はなかった。その数日後、こどもの不登校はいじめ重大事態にあたるから、対応してほしいという要請が保護者からあった。

4

こうした保護者の要請に、担任であるあなたはどのように対応しますか？

5

#### エピソードC

不登校生に対しては家庭訪問が大切だと言われるので、3ヶ月近く学校に来ていないCには週に1、2度家庭訪問をしている。最近では、Cの気持ちもだいぶ落ち着いてきたようで、自分とも会って話をしてくれるようになったので、帰りがけに「そろそろ学校に来れるかなあ？」と言うと、Cは「はい。」と明るく答えてくれた。何度かこうしたやりとりがあったが、Cは学校に来ることがなかったので、保護者に「Cさんはだいぶ元気になってきたようで、私もうれしいです。私には学校に行くと言っているのですが、私との約束を守るようにお母さんからも伝えて下さいね。学校としてできることはやってきたつもりですので、今度は「Cさんとお母さんががんばる番ですよ。」と伝えた。家庭訪問時、母親も明るく接してくれているが、SCからの母親面談の報告では、自分が家庭訪問した後、子どもが荒れたり、落ち込んだりして困っているということであった。

6

自分としてうまく対応しているつもりだった担任であるあなたは、この事態をどのように理解し、今後どのようにしていきますか？

7

#### エピソードD

Dの家庭では小学校低学年の頃、父親から母親へのDVがひどく、Dは父親から母親が暴言を言われたり、暴力を振るわれたりする場面を見たこともあった。父親はDに暴力を振るうことはなかったが、怒鳴られることもあり、ひどく怖かったことを覚えている。その後、両親は離婚し、母親と3つ下の弟の3人で暮らすようになり、落ち着いて生活できるようになったが、中学入学後学校はおもしろくないと言ったり、生徒に対して強い言い方をする教師が怖いと言ったりしては学校を休むようになった。母親が話しかけても、自分が小さい頃父親から虐待を受けても助けてくれなかったと攻撃するばかりであった。母親から事情を聞かされた担任は、家庭訪問をしてDと話をしたが、自分は大人から見捨てられた被害者であることを繰り返した。担任は、母親も弱みがあって、Dに向き合えないことに疑問を感じていた。

8

担任は管理職とも相談し、虐待と学校に行けないことは別の問題なので、甘やかさずに毅然とした姿勢でDに向き合うように母親にアドバイスした。しかし、いっこうに変化はなかった。担任であるあなたは今後どのように対応していきますか？

9

### エピソードE

Eは中学に入学し、希望していた部活にも入り、楽しそうに学校生活を送っていた。6月頃になって、それまでも気になっていたが、クラスや部活の女子グループで他人の悪口を言い合っているのが嫌になり、グループから離れるようになった。休み時間は男子と話したり、読書をしったりして過ごした。昼休みも教室で読書をしていると、「外に出てみんなと遊んだらどうだ。」と担任から言われ、無性に腹が立ったが、何も答えなかった。部活も休みがちになり、帰宅後は趣味のオンラインゲームをして、そのメンバーとチャットをするなどをして過ごした。自分は将来声優か漫画の仕事に就きたいので、無理して学校に行くこともないと思い、学校に行かなくなった。以前から厳しい校則も嫌いで、テレビで紹介されていた校則のない学校なら、自分の好きなことができるので、行っていいと母親に話すようになった。

10

担任であるあなたは、保護者から「転校させてでもEの希望に応じてやりたいが、どう思われますか？」と聞かれた。あなたはどうか答えますか？

11

## 2. 子どもと保護者との関わり

(1)不登校前から関係はできあがっている

- 子ども:授業場面, 授業以外の学校場面
  - 保護者:学級通信, 保護者会, 学校行事
- どこまで関わり, 理解しているか?
- どんな印象か, どんな特徴か
  - 自分との相性は?
  - どう思われているか? 信頼されているか?

12

## (2)欠席傾向～不登校になってからの関係

- 0ベースからのスタートではない  
それまでの関係がベースライン  
→関係の継続か再構築か？
- どう見られているか？  
登校強制者／現状肯定者  
不安提供者／安心提供者  
否定的評価者／肯定的評価者  
支援者／叱責者／無関心者／配布物配達者

13

## 3. 不登校の子どもをもつ保護者との関わり

- (1)困っているのは本人, 保護者, 担任
- ①責めない
  - ②支える
  - ③見捨てない
  - ④一緒に取り組んでいく
- 自分の経験や理想から自由になる  
うまくいかないことに慣れる  
子どもや保護者のせいにしない

14

## (2)保護者面接の7ステップ(黒沢, 2002)

- ①保護者の特徴に合わせる
- ②保護者のニーズを知る
- ③保護者のゴールを知る
- ④問題の原因を家族から取り去る
- ⑤子どものリソースを探す
- ⑥うまくいっていること(例外)を探す
- ⑦具体的な作戦を提案する

15

## (3)保護者から簡単に信頼を失える一言

- 高校は義務教育ではないですから・・・。
- このままだと高校は通信か定時制ですねえ。
- 適応教室に行くようになったら終わりです。
- お母さんが子離れできないのが問題ですよ。
- とりあえず検査でも受けてはどうですか？
- 不登校を続けると引きこもりになりますよ。
- もっとがんばらせて下さい。

16

#### 4. 先生方に知っていただきたいこと

- 登校刺激の効果  
何が正解かわからない／使い方次第
- 毎朝の欠席連絡  
子どもも保護者も7時から8時は魔の時間帯
- 熱心すぎる家庭訪問  
やたらと教師が家に来るというストレス  
近所からの世間体の悪さ
- 過剰適応型の落とし穴  
人前で格好の悪いことはできないという信念

17

- 発達障害(傾向)要因  
「わがまま」「やる気がない」と決めつけない
- 別室登校／適応指導教室  
行ったら学校へ2度と戻れなくなるという  
都市伝説
- OSCか外部機関カウンセラー  
どちらもOK！うまく利用することがポイント
- 登校再開か心理的問題解決か  
立場／治療法により異なる  
登校再開できるに越したことはないという  
スタンス

18

#### 5. エピソードから学んでいただきたいこと

- 不登校は不登校の問題だけで終わらない
- 子ども／保護者との関わり方は  
コミュニケーションスキルの問題だけでない  
↓
- (A)  
校種間連携を形だけ、その場だけにしない  
約束ということの重要性を確認する  
できること／できないことを明確にする
- (B)  
いじめ関係法、諸規定を今一度確認する  
いじめアンケートの意義を再確認する  
いじめは加害者探しと謝罪だけが解決でない

19

- (C)  
古典的不登校生像のよい子／過剰適応を  
今一度理解する
  - (D)  
虐待、DVIについての理解を深める  
関連法、疑いあり時の対応方法を知っておく
  - (E)  
校則や教師の言動の重さを理解する  
転校という選択肢の意味を理解する
- これらをどう理解するか、考えるかによって、  
子ども／保護者とのやりとりが変わる

20